



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 JBCCホールディングス株式会社
コード番号 9889 URL <http://www.jbcchd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山田 隆司

問合せ先責任者 (役職名) 管理担当

(氏名) 岸本 肇

TEL 03-5714-5171

四半期報告書提出予定日 平成22年11月11日

配当支払開始予定日

平成22年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	39,484	0.8	534	47.5	585	41.5	78	—
22年3月期第2四半期	39,157	△18.9	362	△74.5	413	△71.3	0	△99.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	4.54	—
22年3月期第2四半期	0.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	36,784	13,824	36.2	768.06
22年3月期	37,105	14,029	36.5	781.25

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 13,301百万円 22年3月期 13,529百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
23年3月期	—	12.50	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	12.50	25.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	83,000	5.3	1,500	36.3	1,500	29.7	550	278.7	31.76

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.5「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 ― 社（社名 ）、除外 ― 社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期2Q 18,711,543株 22年3月期 18,711,543株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 1,393,611株 22年3月期 1,393,546株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期2Q 17,317,951株 22年3月期2Q 18,004,142株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	5
(1) 重要な子会社の異動の概要	5
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	5
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書	8
(第2四半期連結累計期間)	8
(第2四半期連結会計期間)	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
4. 補足情報	12
販売の状況	12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成22年4月1日～平成22年9月30日）におけるわが国経済は、景気の緩やかな回復に向けた動きが見られたものの、急激な円高による輸出企業の収益の圧迫など、景気の先行きに対する不透明感が続いています。こうした中、企業のハードウェア需要には回復の兆しが一部見られたものの、IT投資の完全な復調には至っておらず、情報サービス産業を取り巻く環境は引き続き厳しい状況で推移しました。

このような事業環境において、当グループにおきましては、収益を確保するため、前連結会計年度より人員体制の見直しと最適化を進めるとともに、お客様への提案活動の強化による受注の拡大を図るほか、システム構築やサービスビジネスを中心に内製化を推進することにより外部委託費用の削減を図りました。また、グローバル展開するお客様のIT活用を支援するため、海外拠点の拡充を進め、中国の大連、上海に続き、7月にはタイのバンコクに、9月には中国の広州に拠点を設立いたしました。

当グループは、「オフィスのショーケース化」（最新の情報技術を自社内で具体的にに取り込み、自ら活用して、経営に役立つIT活用、問題解決をお客様にも提案する考え方）を推進していますが、この一環として、7月には全国の拠点に設置していた開発環境のサーバーを仮想化の技術を用いて統合、クラウド化し運用しております。この経験と実績をもとにお客様にも積極的に最適なIT活用のご提案をまいります。

また、当グループは、お客様の満足度向上への努力を継続的に行ってきておりますが、定期的なお客様満足度調査の結果を踏まえて改善活動を行ってきた結果、今年度の外部機関による満足度調査結果（*）において、高い評価を得ることができました。今後ともお客様との信頼関係を築きながら、ビジネスの拡大に努めてまいります。

（*）日経コンピュータ『第15回 顧客満足度調査』、並びにJ.D. パワー アジア・パシフィック『2010年 日本ITソリューション顧客満足度調査』及び『2010年 日本IT機器保守サービス顧客満足度調査＜サーバー機編＞』

当第2四半期連結累計期間における事業分野別の概況は、以下のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、事業会社をベースとした「マネジメント・アプローチ」のセグメント開示に変更いたしました。これに伴い、従来の「システム・ディストリビューション」及び「ITサプライ」を統合し、「ディストリビューション」へ一本化しております。

【情報ソリューション】

企業の情報システムの構築及び運用保守サービスなどを行っている情報ソリューション分野では、SIビジネスについては厳しい状態が続いたものの、リーマンショック以降の企業のIT投資抑制の反動もあり、サーバー、PC及びソフトウェアなどのシステム製品の販売が伸長した結果、売上高は280億79百万円（前年同期比1.7%増）となりました。

【ディストリビューション】

パートナー企業様向けにハードウェア、ソフトウェア及びITサービスなどの販売、並びにITサプライ用品及びオフィス文具用品などの販売を行っているディストリビューション分野では、依然としてオフィス文具用品の販売は厳しかったものの、企業のIT投資需要の回復に伴い、サーバー、PCなどのハードウェアの販売が伸長したことに加え、ソフトウェアについても新規顧客の開拓や販売体制の強化などに取り組んだ結果、売上高は98億43百万円（前年同期比2.5%増）となりました。

【製品開発製造】

プリンターやシンククライアントなどの情報機器及び当グループ独自のソフトウェアの開発・製造を行っている製品開発製造分野では、新製品の開発並びにクラウド対応を積極的に推進しております。PC情報資産管理のための「CustomerVision ProtectAnyware 2.0」、セキュアなプリンティングを実現する「CustomerVision Print」などに加え、独自のクラウドサービスとしてIBMのサーバーであるIBMiの利用環境をクラウドで提供する「5250クラウドサービス」を発表いたしました。情報ソリューション及びディストリビューションの事業会

社を通じてのビジネスは堅調に推移しましたが、直販のビジネスにおいてOEMが減少した結果、売上高は15億61百万円（前年同期比19.0%減）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高394億84百万円（前年同期比0.8%増）、営業利益5億34百万円（前年同期比47.5%増）、経常利益5億85百万円（前年同期比41.5%増）、四半期純利益は78百万円（前年同期比9,743.4%増）となりました。なお、第1四半期連結会計期間において、資産除去債務会計基準の適用に伴う期首の累積的影響額2億7百万円を特別損失に計上しております。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億20百万円減少し、367億84百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が4億11百万円、たな卸資産が3億31百万円増加した一方、現金及び預金が9億22百万円減少したことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比べ1億16百万円減少し、229億59百万円となりました。これは主に、資産除去債務計上により2億86百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が4億13百万円、短期借入金が5億3百万円減少したことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末と比べ2億4百万円減少し、138億24百万円となりました。これは主に配当金支払により2億59百万円減少したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）の残高は、前連結会計年度末に比べ10億25百万円減少し、54億31百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

営業活動による資金の増加は1億27百万円（前年同期は1億65百万円の減少）となりました。増加要因としては、主に税金等調整前四半期純利益3億68百万円、減価償却費2億55百万円、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額2億7百万円、減少要因としては、主に仕入債務の減少4億14百万円、たな卸資産の増加3億31百万円などによるものです。

〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

投資活動による資金の減少は2億33百万円（前年同期は7億64百万円の減少）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出59百万円、無形固定資産の取得による支出35百万円、関係会社株式の取得による支出40百万円などによるものです。

〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

財務活動による資金の減少は9億15百万円（前年同期は1億29百万円の減少）となりました。増加要因としては、主に短期借入れによる収入5億20百万円、減少要因としては、主に短期借入金の返済による支出10億円、配当金の支払2億59百万円などによるものです。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済は、デフレの影響や雇用情勢の悪化、円高の進行などの景気を下押しするリスクが存在し、先行きは不透明感を増しております。

依然として厳しい環境が続いておりますが、コスト削減や売上拡大につながるIT活用のための投資には根強い需要が見受けられます。このようなお客様のご要望を的確に把握し、投資効果の高いソリューションをご提案することによりビジネスの拡大を図ってまいります。また、強化分野として注力している公共・医療分野、ERPビジネス、BIビジネス、クラウドへの対応などを一層推進することにより、収益の向上に努めてまいります。

以上を踏まえ、平成22年4月30日に発表しました連結業績予想に変更はありません。

※上記業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

- ① 当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。
- ② 繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。
- ③ 税金費用の計算は、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益はそれぞれ9百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は、216百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は290百万円であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,533	6,456
受取手形及び売掛金	14,148	13,736
商品及び製品	2,445	2,231
仕掛品	661	501
原材料及び貯蔵品	950	992
その他	3,377	3,336
貸倒引当金	△78	△89
流動資産合計	27,038	27,166
固定資産		
有形固定資産	2,118	2,126
無形固定資産		
のれん	1,411	1,505
その他	542	571
無形固定資産合計	1,954	2,077
投資その他の資産		
その他	5,826	5,894
貸倒引当金	△152	△159
投資その他の資産合計	5,673	5,734
固定資産合計	9,746	9,938
資産合計	36,784	37,105
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,987	9,401
短期借入金	1,269	1,773
未払法人税等	397	182
販売等奨励引当金	29	34
その他	5,330	4,985
流動負債合計	16,014	16,377
固定負債		
長期借入金	88	144
退職給付引当金	6,008	5,859
役員退職慰労引当金	24	29
資産除去債務	286	—
負ののれん	79	90
その他	457	575
固定負債合計	6,945	6,698
負債合計	22,959	23,075

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,687	4,687
資本剰余金	4,760	4,760
利益剰余金	4,988	5,170
自己株式	△994	△994
株主資本合計	13,442	13,624
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△136	△92
為替換算調整勘定	△4	△2
評価・換算差額等合計	△141	△94
少数株主持分	523	499
純資産合計	13,824	14,029
負債純資産合計	36,784	37,105

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
売上高	39,157	39,484
売上原価	31,320	31,465
売上総利益	7,836	8,018
販売費及び一般管理費	7,474	7,484
営業利益	362	534
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	15	16
受取保険料	—	19
貸倒引当金戻入額	33	17
その他	53	38
営業外収益合計	105	93
営業外費用		
支払利息	16	18
支払手数料	5	5
為替差損	28	18
その他	4	0
営業外費用合計	54	43
経常利益	413	585
特別利益		
会員権売却益	2	3
貸倒引当金戻入額	30	—
特別利益合計	33	3
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	207
投資有価証券評価損	170	0
その他	10	12
特別損失合計	180	220
税金等調整前四半期純利益	265	368
法人税等	182	271
少数株主損益調整前四半期純利益	—	96
少数株主利益	82	18
四半期純利益	0	78

(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)
売上高	20,262	20,295
売上原価	16,163	16,204
売上総利益	4,098	4,090
販売費及び一般管理費	3,692	3,718
営業利益	406	372
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	3	3
貸倒引当金戻入額	27	4
助成金収入	16	—
その他	13	20
営業外収益合計	62	30
営業外費用		
支払利息	9	8
支払手数料	2	2
為替差損	19	9
その他	2	0
営業外費用合計	34	21
経常利益	434	381
特別利益		
貸倒引当金戻入額	30	—
特別利益合計	30	—
特別損失		
固定資産除却損	—	9
投資有価証券評価損	120	—
会員権評価損	8	—
その他	0	—
特別損失合計	128	9
税金等調整前四半期純利益	335	372
法人税等	165	206
少数株主損益調整前四半期純利益	—	165
少数株主利益	51	12
四半期純利益	119	153

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	265	368
減価償却費	208	255
のれん償却額	79	83
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△59	△17
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	126	149
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2	△4
販売等奨励引当金の増減額 (△は減少)	△19	△4
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	207
受取利息及び受取配当金	△18	△17
支払利息	16	18
支払手数料	5	5
売上債権の増減額 (△は増加)	2,375	35
たな卸資産の増減額 (△は増加)	927	△331
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,214	△414
その他	△1,154	△312
小計	543	18
利息及び配当金の受取額	16	16
利息の支払額	△15	△18
手数料の支払額	△3	△7
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△705	119
営業活動によるキャッシュ・フロー	△165	127
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△155	△59
無形固定資産の取得による支出	△63	△35
投資有価証券の取得による支出	△40	△1
投資有価証券の売却による収入	1	—
関係会社株式の取得による支出	—	△40
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△862	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	183	—
その他	172	△97
投資活動によるキャッシュ・フロー	△764	△233

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,220	520
短期借入金の返済による支出	△680	△1,000
長期借入金の返済による支出	△45	△78
自己株式の取得による支出	△295	△0
配当金の支払額	△272	△259
少数株主への配当金の支払額	△2	△6
リース債務の返済による支出	△53	△90
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△129	△915
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	△2
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,060	△1,025
現金及び現金同等物の期首残高	7,553	6,456
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,493	5,431

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

販売の状況（連結）

第1四半期連結会計期間より、事業会社をベースとした「マネジメント・アプローチ」のセグメント開示に変更いたしました。これに伴い、従来の「システム・ディストリビューション」及び「ITサプライ」を統合し、「ディストリビューション」へ一本化しております。また、前年同期比較については、前第2四半期連結累計期間の金額を変更後の区分に組替えた上で算定しております。

セグメントの名称	販売高（百万円）	前年同期比（％）
情報ソリューション	28,079	1.7
ディストリビューション	9,843	2.5
製品開発製造	1,561	△19.0
合計	39,484	0.8